

Old Red Leather Chair

古くて赤い革の椅子

作詞作曲 マイク・バス



僕は雨の音を聴くのが好き、
君はボードゲームで僕に勝つのが好き。
僕の一番好きな時間は朝、
君の一番好きな時間は夜。
この繊細な快いこと全ての中で、
君が探して、僕を見つけた。
この全てを創造するということは、誰の考えかな？
君のアイデアだったかな？それとも僕の？
何回もこういう話を振ってすいません。
でも、まだ僕は父なる時（時間）のことで困惑しています。
変だと思われるかもしれないけれど、彼（時間）のことを信じているか分かりません。
早くても遅くても、全く違いはない。
でも母なる大地（地球）については、これがすごい話で、
海からコンピューターまで、全ては一つのもの。
女性と男性、背が低い人も高い人も、
プラスチックの袋から野球まで。
古く赤い革の椅子に座って、
じっくりと人生の意味を考える。
きちんと潤った木の根っこのように、
韻のことを考えると髪の毛が立つ。
しかし、やっと自分に問いかけたのはこんなこと：
みんなが探している幸せはどこにあるの？
その答えは、すぐ僕の鼻の下にある、それは君、
思考と同じくらい唯一の具体的なこと。